

Alute

室内手摺 壁付け アルミラウンド笠木

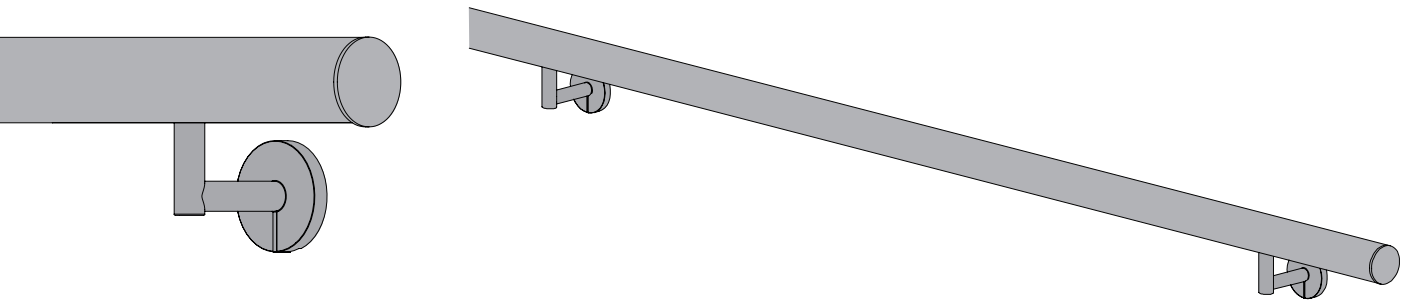
施工説明書



森田アルミ工業株式会社 | 599-0201 大阪府阪南市尾崎町530-1 | TEL 072-480-1400 FAX 072-480-1414 | <https://www.moritaalumi.co.jp>

このたびは、室内手摺Alute壁付け（**アルミ ラウンド笠木**）をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの施工説明書をよくお読みになり、正しく適切な方法で施工してください。  
こちらの説明書は、お施主様にもお読みいただきたい内容です。大切に保管いただき、お施主様へお渡し願います。

※本書はAluteの施工を行う際の基本的な説明書です。  
現場の状況によっては施工方法が変わる場合があります。



⚠️ 注意事項

施工時の注意事項

- ・納品時に各部材の検品を行ってください。取り付け後の損傷クレームについては弊社で責任を負うことができません。
- ・部材は直射日光、湿度、水にさらされない場所に保管してください。
- ・施工中および仮固定中は、施工場所に安全防護柵を施すなど手摺が使用できないことが周囲にわかるようにしてください。
- ・施工中および仮固定中は、手摺とブラケットに力を加えないでください。
- ・壁紙を貼るため等に手摺を脱着する場合、手摺を脱着する人にこちらの施工説明書をお渡しください。
- ・施工は必ず専門の施工者が行ってください。
- ・部材の固定は同梱のビスを使用してください。施工の最終工程で増し締めを行い確実に固定し、  
がたつきや緩みがないことを確認してください。
- ・トルク調整のできる電動ドライバーを使用し、ビスが空転したり、ねじ切れたりしないようにしてください。
- ・材割れ、破損の原因になるため、ビス固定の際は必ず施工説明書に記載の下穴を開けてください。
- ・切断などの加工時は、周囲の安全を確保し、養生シートの上で行い切り粉が飛散しないようにしてください。
- ・切断時に発生したバリは、ケガや事故の原因になるため、丁寧にヤスリ等で除去してください。
- ・製品の改造は絶対にしないでください。

設計時の注意事項

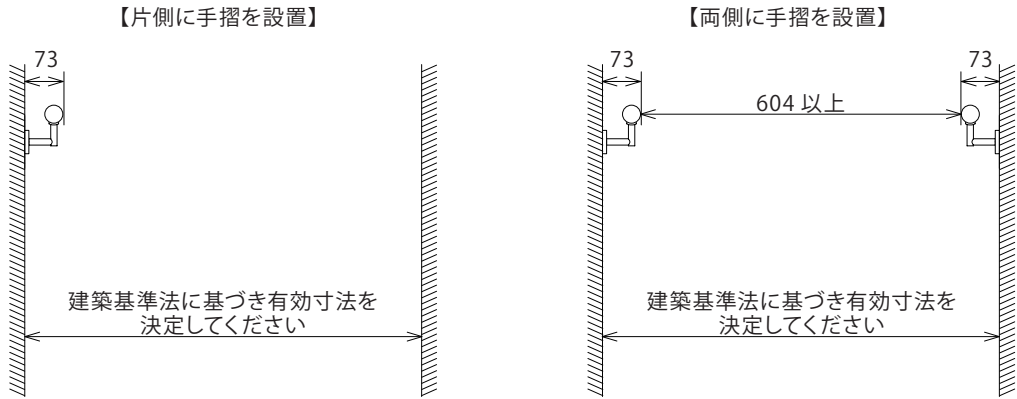
- ・ブラケットの取り付け間隔は 900mm 以内にしてください。
- ・笠木端部から 100mm 以内にブラケットを取り付けてください。
- ・手摺を連続で付ける場合は、端部同士の間隔を 40mm 以上離してください。指が挟まる恐れがあります。
- ・タイルなど割れやすい素材の壁面には施工しないでください。
- ・ブラケットは、必ず下地（12.5mm 以上の構造用合板や柱）のある場所に設置してください。
- ・石膏ボードの二重貼りなど、壁表面から下地材まで 12mm を超える場所には施工しないでください。
- ・当製品は室内専用です。屋外や浴室など、多湿な環境や水の掛かるところには設置しないでください。  
腐食、材割れが発生し、破損や落下の原因になります。

施主様へ

- ・手摺以外の用途に使用しないでください。
- ・お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。  
汚れがひどい場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含め、固く絞ってから拭いてください。  
酸性、アルカリ性の洗剤や、アルコール、シンナー等が含まれた液体は絶対にご使用にならないで下さい。
- ・薬品や化粧品が付着しないようにご注意ください。色むらや破損の原因になります。
- ・定期的にビスのゆるみやガタつきを確認してください。

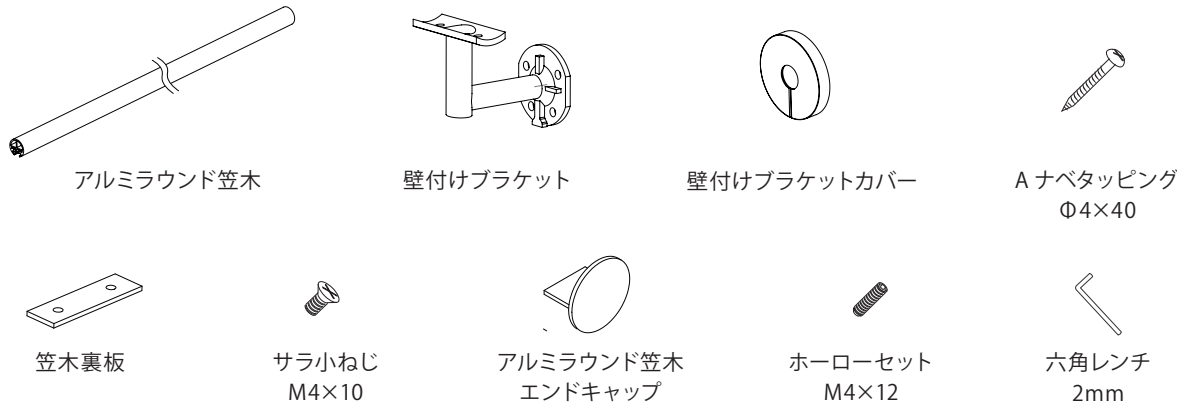
手摺の設置位置

階段有効幅は建築基準法に基づき、確保してください。

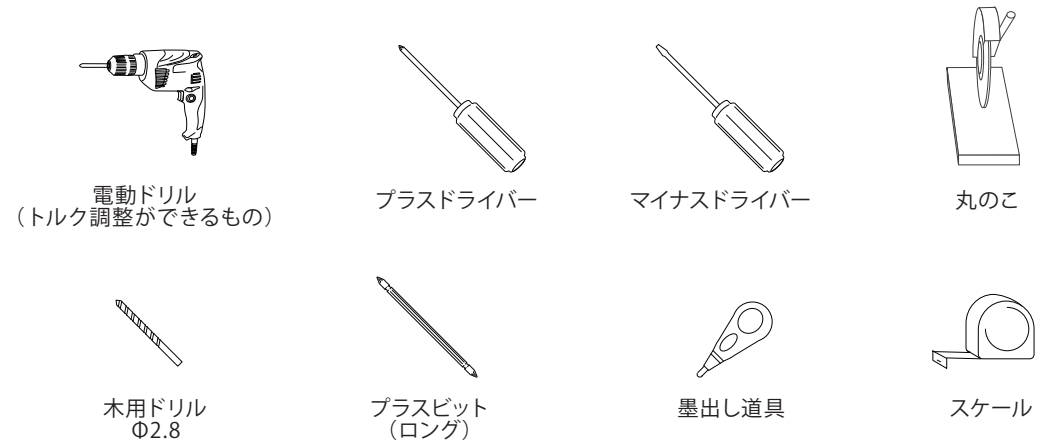


階段の手摺の高さは H600 ～ H800mm が一般的です。（段鼻から手摺上端までの高さ）  
使用者に合わせて高さを決定してください。

同梱、または提供している部材



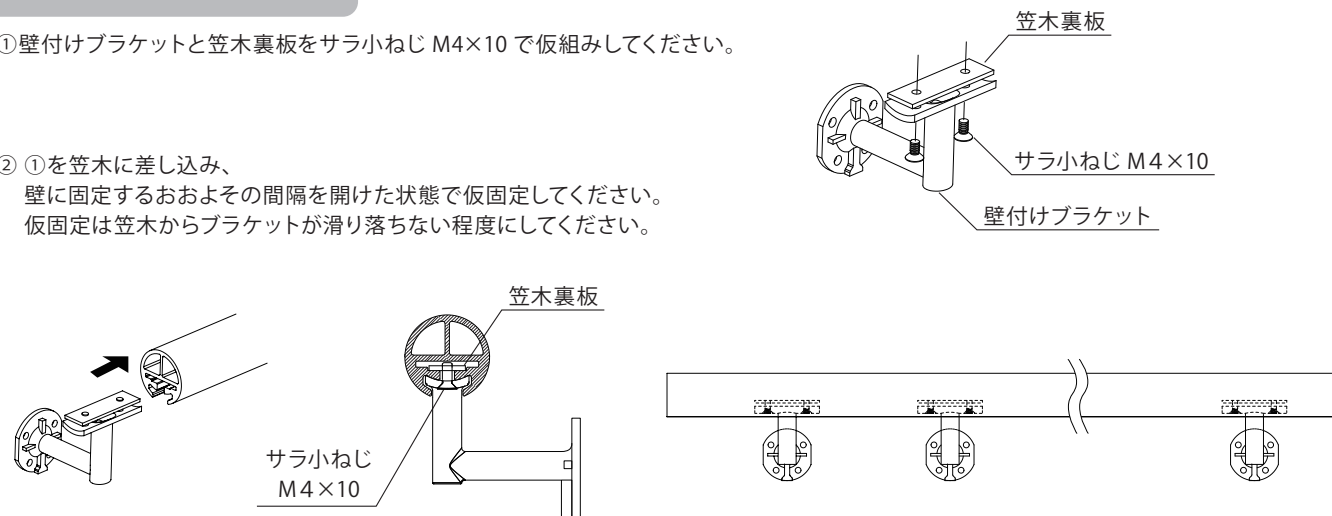
施工に必要な道具



## 1. ブラケットと笠木の仮固定

① 壁付けブラケットと笠木裏板をサラ小ねじ M4×10 で仮組みしてください。

② ①を笠木に差し込み、壁に固定するおおよその間隔を開けた状態で仮固定してください。仮固定は笠木からブラケットが滑り落ちない程度にしてください。



## 2. 墨出し

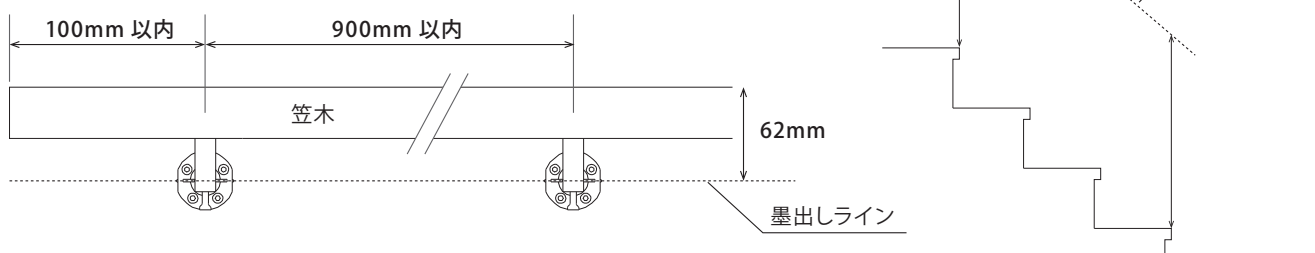
① 階段の段鼻から笠木上端までの高さの位置を出してください。

② ①で出した手摺の高さ（上端）から 62mm 下方に墨出ししてください。

③ 下記の図に沿って、ブラケットの取付位置を決めてください。

階段の手摺の高さは H600 ～ H800mm が一般的です。（段鼻から手摺上端までの高さ）使用者に合わせて高さを決定してください。

段鼻から笠木上端の高さ－62mm  
＝ 墨出しライン



## 3. ブラケットの仮固定

墨出しラインにブラケットの突起を合わせ、Φ2.8 の下穴を開けてください。

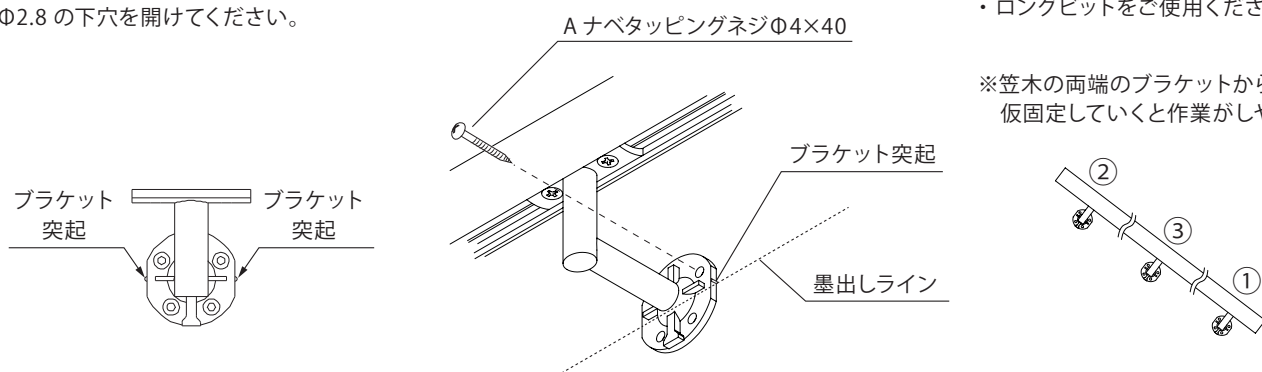
A ナベタッピングネジ Φ4×40 で一か所とめ、仮固定してください。

A ナベタッピングネジ Φ4×40 をとめる際は、Φ2.8 の下穴を開けてください。

△ 注意

- ・ドライバーがブラケットに接触しないように注意してください。
- ・ロングビットをご使用ください。

※笠木の両端のブラケットから仮固定していくと作業がしやすいです。

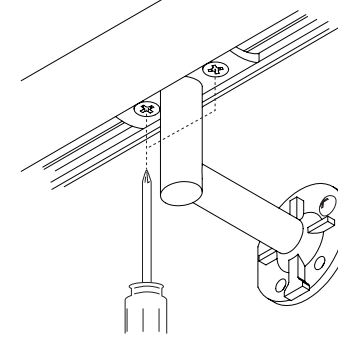


## 4. 笠木の固定

笠木と仮固定していたブラケットのビスを締め、しっかりと固定してください。

△ 注意

ドライバーがブラケットに接触しないように注意してください。



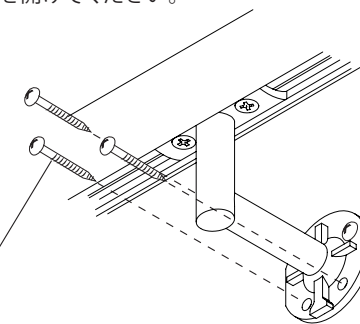
## 5. ブラケットの固定

ブラケットに残りのビスを取り付けて本固定してください。固定の際は、下穴 Φ2.8mm を開けてください。

△ 注意

- ・ドライバーがブラケットに接触しないように注意してください。
- ・ロングビットをご使用ください。

A ナベタッピングネジ  
Φ4×40

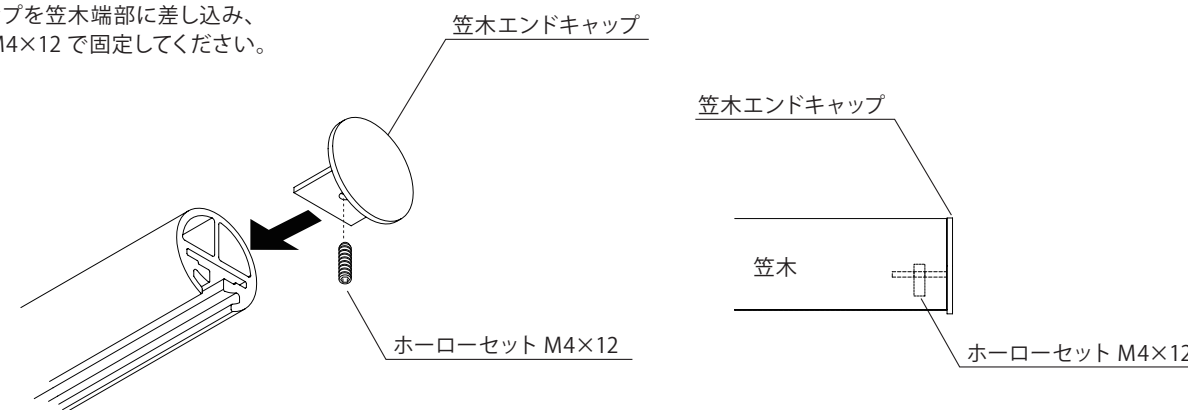


## 6. カバーの取付

笠木エンドキャップを笠木端部に差し込み、ホーローセット M4×12 で固定してください。

△ 注意

エンドキャップを上下逆につけると笠木の小口が露出します。小口が露出しない方向に合わせて取り付けてください。

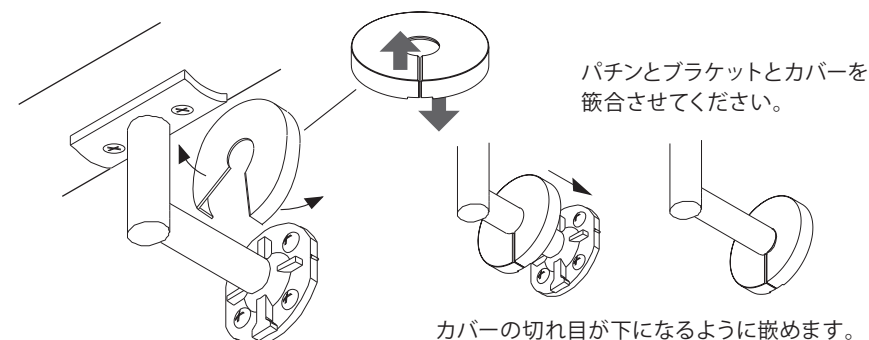


## 7. カバーの取付

ブラケットにカバーを取り付けてください。カバーをねじるようにして広げて取り付けてください。ブラケットの太さより広げないでください。破損の原因となります。

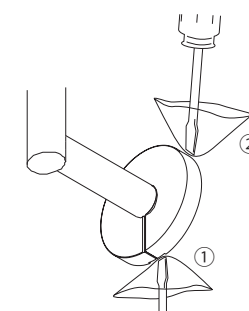
△ 注意

カバーは外しにくい構造となっています。今後の施工でブラケットを外す可能性が無い状態になってからカバーを取り付けてください。



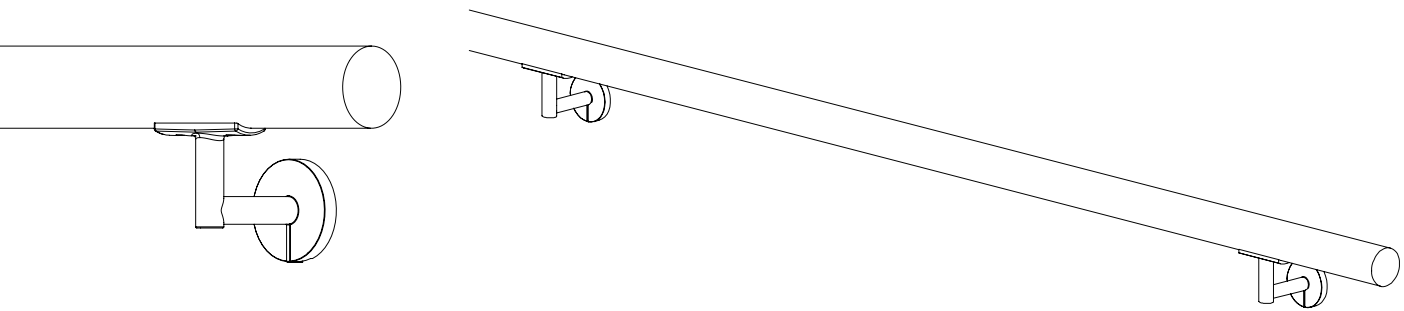
## ブラケットカバーの外し方

ブラケットカバーを外す場合は、下側にある溝にマイナスドライバーを差し込んでひっかかりを外してください。その後、上側のひっかかりも外してください。マイナスドライバーには当て布などをして壁や部材が傷つかないようにしてください。



このたびは、室内手摺Alute壁付け（木笠木）をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にこの施工説明書をよくお読みになり、正しく適切な方法で施工してください。  
こちらの説明書は、お施主様にもお読みいただきたい内容です。大切に保管いただき、お施主様へお渡し願います。

※本書はAluteの施工を行う際の基本的な説明書です。  
現場の状況によっては施工方法が変わる場合があります。



⚠️ 注意事項

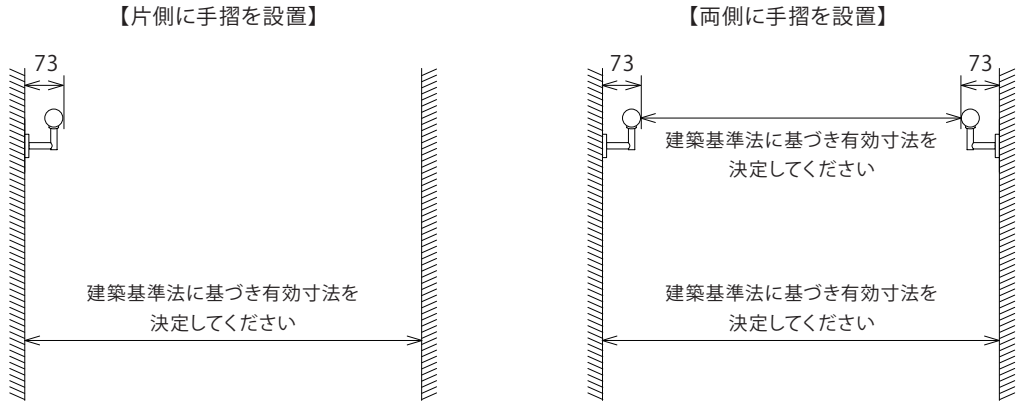
- 施工時の注意事項**
- ・納品時に各部材の検品を行ってください。取り付け後の損傷クレームについては弊社で責任を負うことができません。
  - ・部材は直射日光、湿度、水にさらされない場所に保管してください。
  - ・施工中および仮固定中は、施工場所に安全防護柵を施すなど手摺が使用できないことが周囲にわかるようにしてください。
  - ・施工中および仮固定中は、手摺とブラケットに力を加えないでください。
  - ・壁紙を貼るため等に手摺を脱着する場合、手摺を脱着する人にこちらの施工説明書をお渡しください。
  - ・施工は必ず専門の施工者が行ってください。
  - ・部材の固定は同梱のビスを使用してください。施工の最終工程で増し締めを行い確実に固定し、  
がたつきや緩みがないことを確認してください。
  - ・トルク調整のできる電動ドライバーを使用し、ビスが空転したり、ねじ切れたりしないようにしてください。
  - ・材割れ、破損の原因になるため、ビス固定の際は必ず施工説明書に記載の下穴を開けてください。
  - ・切断などの加工時は、周囲の安全を確保し、養生シートの上で行い切り粉が飛散しないようにしてください。
  - ・切断時に発生したバリは、ケガや事故の原因になるため、丁寧にヤスリ等で除去してください。
  - ・製品の改造は絶対にしないでください。

- 設計時の注意事項**
- ・ブラケットの取り付け間隔は 900mm 以内にしてください。
  - ・笠木端部から 100mm 以内にブラケットを取り付けてください。
  - ・手摺を連続で付ける場合は、端部同士の間隔を 40mm 以上離してください。指が挟まる恐れがあります。
  - ・タイルなど割れやすい素材の壁面には施工しないでください。
  - ・ブラケットは、必ず下地（12mm 以上の構造用合板や柱）のある場所に設置してください。
  - ・石膏ボードの二重貼りなど、壁表面から下地材まで 12.5mm を超える場所には施工しないでください。
  - ・当製品は室内専用です。屋外や浴室など、多湿な環境や水の掛かるところには設置しないでください。  
腐食、材割れが発生し、破損や落下の原因になります。

- 施主様へ**
- ・手摺以外の用途に使用しないでください。
  - ・お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。  
汚れがひどい場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含め、固く絞ってから拭いてください。  
酸性、アルカリ性の洗剤や、アルコール、シンナー等が含まれた液体は絶対にご使用にならないで下さい。
  - ・薬品や化粧品が付着しないようにご注意ください。色むらや破損の原因になります。
  - ・定期的にビスのゆるみやガタつきを確認してください。

手すりの設置位置

階段有効幅は建築基準法に基づき、確保してください。

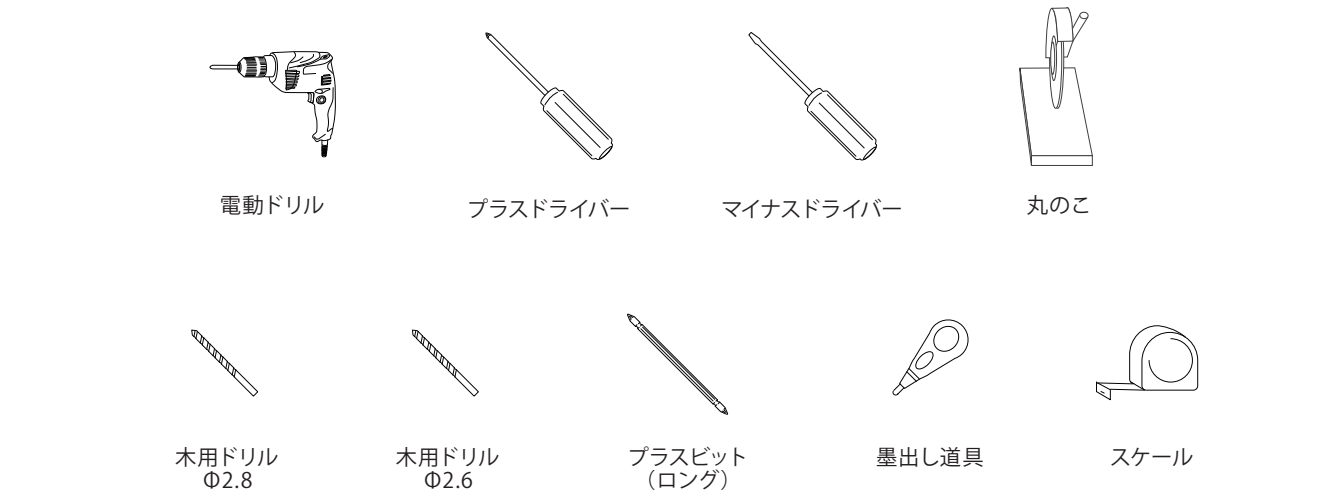


階段の手摺の高さは H600 ～ H800mm が一般的です。（段鼻から手摺上端までの高さ）  
使用者に合わせて高さを決定してください。

同梱、または提供している部材



施工に必要な道具



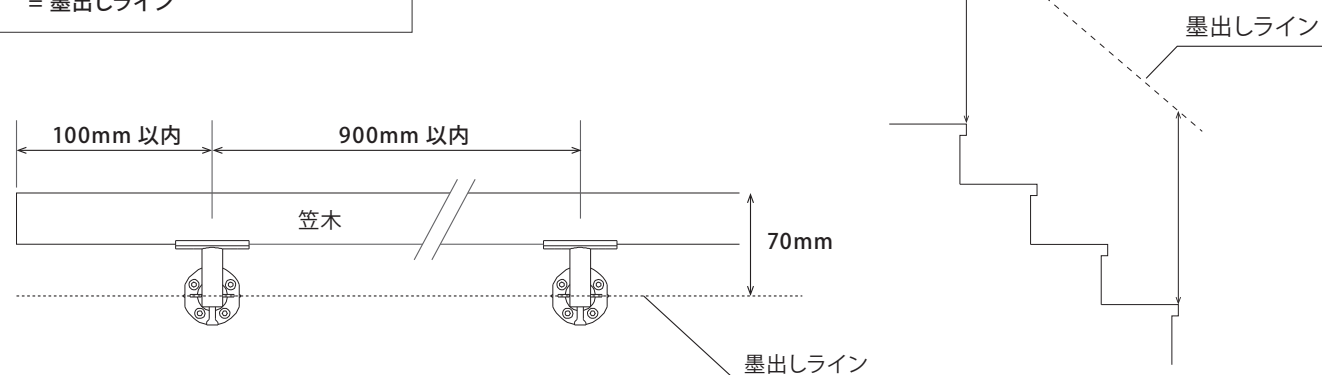


## 1. 墨出し

- ①階段の段鼻から笠木上端までの高さの位置を出してください。
- ② ①で出した手摺の高さ（上端）から 70mm 下方に墨出ししてください。
- ② 下記の図に沿って、ブラケットの取付位置を決めてください。

階段の手摺の高さは H600 ～ H800mm が一般的です。  
（段鼻から手摺上端までの高さ）  
使用者に合わせて高さを決定してください。

段鼻から笠木上端の高さ－70mm  
＝ 墨出しライン

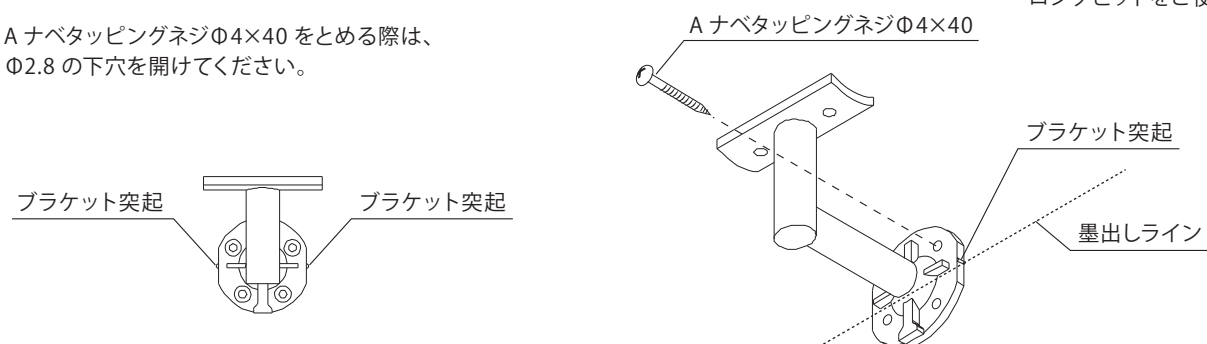


## 2. ブラケットの仮固定

墨出しラインにブラケットの突起を合わせ、  
A ナベタッピングネジΦ4×40 で一か所とめ、仮固定してください。

A ナベタッピングネジΦ4×40 をとめる際は、  
Φ2.8 の下穴を開けてください。

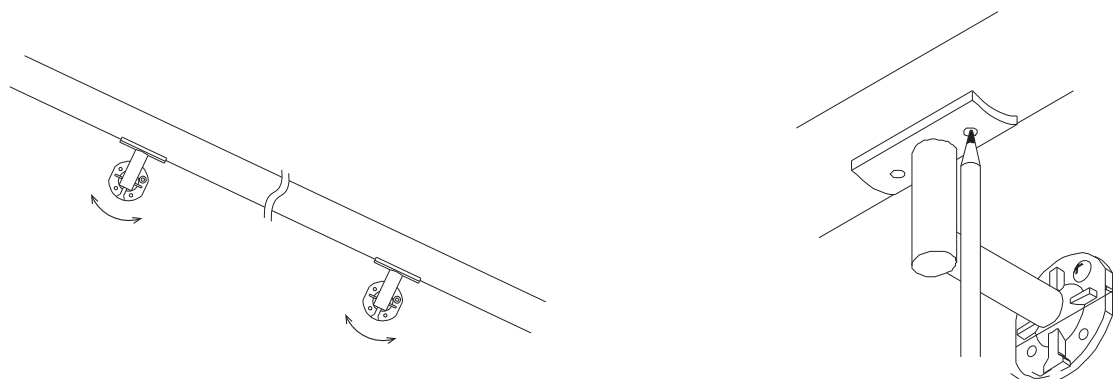
- ⚠ 注意
- ・ドライバーがブラケットに接触しないように注意してください。
  - ・ロングビットをご使用ください。



## 3. 笠木の固定①

- ①仮固定したブラケットに笠木を載せ、  
ブラケットと笠木が密着するようにブラケットの角度を調節してください。

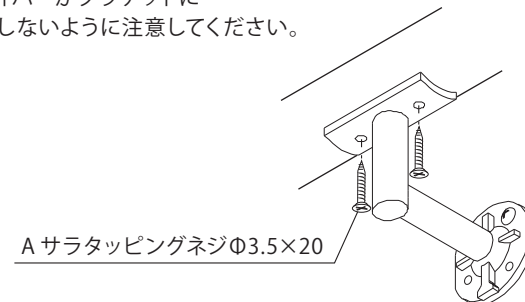
- ②ブラケットの角度、笠木の位置が決まったら、  
笠木の取り付け位置に印を付けてください。



## 4. 笠木の固定②

- ①笠木にΦ2.6mm の下穴を開けてください。
- ②A サラタッピングネジΦ3.5×20 で  
ブラケットと丸棒を固定してください。

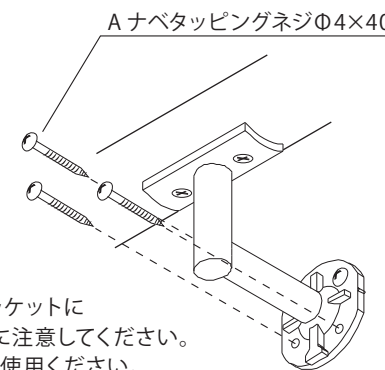
- ⚠ 注意
- ドライバーがブラケットに  
接触しないように注意してください。



## 5. ブラケットの固定

ブラケットに残りの A ナベタッピングネジΦ4×40 を取り付けて  
本固定してください。  
固定の際は、下穴Φ2.8mm を開けてください。

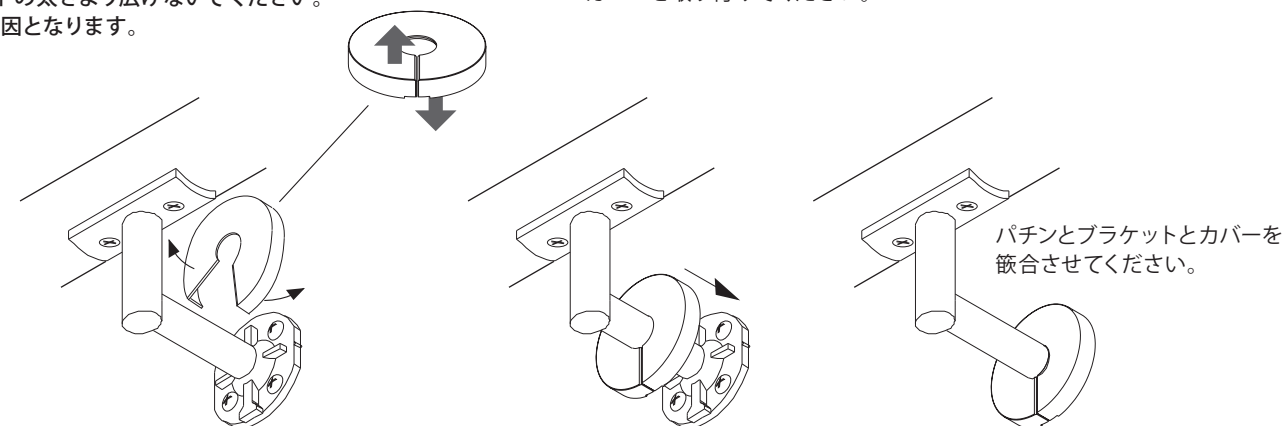
- ⚠ 注意
- ・ドライバーがブラケットに接触しないように注意してください。
  - ・ロングビットをご使用ください。



## 6. カバーの取付

ブラケットにカバーを取り付けてください。  
カバーをねじるようにして広げて取り付けてください。  
ブラケットの太さより広げないでください。  
破損の原因となります。

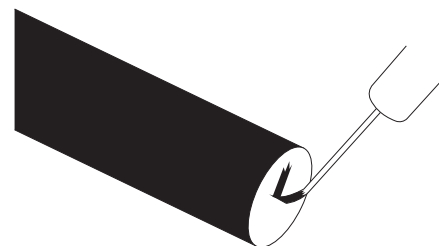
- ⚠ 注意
- カバーは外しにくい構造となっています。  
今後の施工でブラケットを外す可能性が無い状態になってから  
カバーを取り付けてください。



## 7. 小口の塗装

手摺小口のバリを紙やすりで軽く取り除いたのち、  
小口塗装用補修液で塗装してください。

- ⚠ 注意
- ・小口塗装用補修液は、刷毛が一体となっています。蓋を開ける際は塗料がこぼれないようにお気をつけください。
  - ・小口以外の箇所や、壁、床などに塗料が付着しないよう十分ご注意ください。
  - ・塗装は、薄く延ばすように行い、塗料が垂れないようご注意ください。



## ブラケットカバーの外し方

ブラケットカバーを外す場合は、  
下側にある溝にマイナスドライバーを差し込んで  
ひっかかりを外してください。  
その後、上側のひっかかりも外してください。  
マイナスドライバーには当て布などをして壁や部材が  
傷つかないようにしてください。

